ロスプリベンションへの道4 協働防犯（16）

爾霊山（203）よ、最善を尽くすとは一隅を照らすこと

NPO法人 全国万引犯罪防止機構

あえて悲観的な見方をすることがかえって、その不測の事態が起きた時に自分の覚悟を守ってくれるのだとすれば、悲観的な見方をつらぬくことが結果的に、それが楽観的な安心立命につながる。それがデータガバナンスやリスクマネジメントの本質である。今回、そのことを綴る。

◆最善を尽くすとは

203高地は日露戦争の最大の激戦地である。史実とは異なるのかもしれないが、NHKで再放送された「坂の上の雲」（22）203高地（後編）の二つのシーンは、なにかにつけ思い出すことがある。

一つ目のシーン：列車で〈厳寒の地〉203高地に向かう満洲軍総参謀長の児玉源太郎が第3軍参謀副長の大庭二郎に「お前たちが頭の中で考える作戦に、何万の命が懸かっておるか、まずはそれから考えろ！」「大庭、あれは第三軍の墓標であろう。第三軍に向かう兵隊は、皆、この列車から、あの墓標の林を見るんじゃ。その時、兵たちは何を思うか？この本道沿いにお前たち参謀の不用意、不注意、なにをかいわんやじゃ！」二人の眼前にどこまでも広がるのは、1万余の英霊たちの墓標である。

二つ目のシーン：第三軍司令部〈温かな会議室〉に到着した児玉は、参謀長伊地知幸介を見て言った。「命懸けで203高地を制した兵を孤立無援のまま放置し、ロシア軍の奪回を指を咥えて見ておるとは、なんという無能！」と。それに対し、伊地知は203高地を奪還された理由を砲弾の不足が原因だと説明する。児玉の怒りは止まらない。「砲弾が苦しいのはどこも同じじゃ。与えられた条件下で最善を尽くせ！最善を尽くすということは、その眼で現地を見るちゅうことじゃ！体を酷使するちゅうことじゃ！立て！」と。この言葉には危機管理の甘さなどみじんもない（現代では、パワハラ超MAXではあるが…）。

真逆に、東京女子医科大学とフジテレビの問題は、日本の大組織における危機管理の甘さが露呈した例と言える。まさに日本社会全体の課題を浮き彫りにした。組織の内部では、不祥事を未然に防ぐ努力よりも、問題が表面化した際に「どう鎮静化するか」「どう隠蔽するか」に意識が向きがちである。このような姿勢では、真の意味での危機管理は機能しない。組織のリーダーは、問題が発生した際に率先して説明責任を果たし、関係者に対して真摯な対応を取るべきである。その為には、リーダーは絶えずその眼で現場を見ていること。現場の思いを知ることが求められる。

そのことを忘れないためにJEASの全体メールには「Think Globally, Act Locally（超訳：一隅を照らすは、これ則ち世界の宝なり）」をメールなどの末尾に付けるようにしている。一般に「Think Globally, Act Locally」は「地球規模で考え、足元から行動せよ」という標語だが、私はそれだけではないと思っている。行動する足元を見なければ世界というものの実感がつかめないと思うからだ。そして、その行動こそがやがては世界にある悲しみを希望にかえる力だと思う。だから、（超訳：一隅を照らすは、これ則ち世界の宝なり）もかならず付記している。

最善を尽くすとは、リーダーみずから行動し、一隅を照らすこと。軽々しく言う話ではないが、その灯りをもってまわりに照らしていくことはリーダー達の本懐なのではないかと思う。危機に直面し、逃げ隠れしていては、国家も業界も組織においても明日は無い。そのことを忘れないためにJEASでは職業専門委員認定制度を去年創設した。組織そして業界をより良い方向に行くための番人である職業専門家には、やがてリーダーとなる後進を育成するための技能と技量と使命が求められる。それを成すために個人と組織に研鑽のゴールは無い。昨年に続き、今年6月6日のJEAS通常総会では新たに10名程の職業専門委員を認定する予定である。

職業専門委員とは（裏面参照）

◆ファミリーセミナーの目的

昭和の時代は学校の運動会だけでなく、企業や地区で行事が多数あり、村や町内の仲間でヘルスセンターや行楽に家族で参加した。それらの行事に参加すると身近なことが楽しみながら学べる。会員関係のファミリー各位で、手・足・口・頭・心を動かしながら、大切な何かを見つけて欲しいと願っている。

JEASは昨年8月1日（金）のラジオ作りに続き、1月16日（木）の18時30分から第2回JEASファミリーセミナー「大切な人のためにも、生きぬいて！そのための防災講話」をオンラインで開催した。講師は専修大学文学部助教の鈴木比奈子先生にお願いした。小学生から大人まで、教育関係者や警備や防犯設備の関係者など多数の皆様にご視聴をいただいた。以下は視聴者からの感想。

1月16日（木）18:30オンライン開催　工業会JEAS第2回ファミリーセミナー「大切な人のためにも、生きぬいて！そのための防災講話」

いつも大変お世話になっております。

先程は、ファミリーセミナーに子供たちと一緒に参加させて頂きました。ありがとうございました。

長男（小6）：避難所の生活の話を初めて聴いたので興味深かった。

長女（小4）：高台に避難した子供たちが津波を逃れたのがすごいと思った。

私自身も大変勉強になりました。今までは「なるべく避難せずに我慢できるだけ我慢した方が良い」と勝手に思っていましたが率先して避難する人になることが大事というのは目から鱗でした。

8月1日の第3回のファミリーセミナーにも子ども達皆が行く気満々です。次回も楽しみにしています。

さて、その第3回ファミリーセミナーがこちらである。経済産業省の大星室長やJEASメンバーの協力をいただきながら、「共に生きる」ということを共通テーマに、それぞれの年代が楽しく学べる企画を用意した。行きのバスでは専門家からレクチャーがあり、帰りのバスでは子どもたちにマイクを回して感じたことを話してもらう予定だ。一隅を照らすこともできないかもしれないが、福島や東北、明日の日本に思いを馳せる学びの時となれば本望である。ファミリーセミナーの目当ては「共に学び＊共に生きる」である。

◆AI（映像等）にデータガバナンスを織りこむ活動

JEASでは、AI（映像等）の店舗活用とJEASデータガバンナンス遵守の両立事例を学ぶために2つの企画を用意した。

①セミナー「AI（映像等）にデータガバナンスを織りこむ重要性　その事例は」

日時：3月4日（火）15時30分から16時30分

会場：東京ビッグサイト東7ホール　特別ステージ

司会：丸の内総合法律事務所　弁護士木村一輝氏

演題1：小売・物流などでのWeb3の最新事例

Casley Deep Innovations株式会社 執行役員黒岩佳加氏

演題2：Veesion AI映像解析技術を利用した「万引き行動検知システム」

高千穂交易株式会社マーケティング戦略推進部RSプロダクトチーム チームマネージャー佐久間博之氏

演題3：手軽に導入、手軽に防犯。クラウド型の顔検知AIを活用した不正ロス対策

セーフィー株式会社営業本部第1ビジネスユニット　副部長佐伯穂高氏

※申込みは日経セキュリティショー2025のセミナーサイトからお願いしたい。

※会場内のJEASブースはビッグサイト東7ホールSS7093

②6月6日（金）のJEAS通常総会では、15時からの第2部で会員各社の大プレゼン提案の大会を開催することにした。概要の一部を紹介させていただく。QRコードより詳細を確認いただき、是非、多くの皆様に応募いただきたい。

大会の概要

応募用紙（Word）

令和7年度通常総会・大プレゼン大会（案）概要

令和7年度JEAS通常総会は2025年6月6日（金）13:30～ 主婦会館プラザエフにて開催します。
毎年行っていた15時からの第2部の記念講演をとり止めて、会員各社の15分プレゼン提案の大会を開催します。
目的：
1. 会員間の学びの推進と第3部意見交換での情報交換の活発化
2. 法令順守や社会的な配慮を含めた総合プレゼン力の向上
3. 小売業の皆様もお招きし、企業の紹介を図る。
　会場にはセキュリティショーのJEASブースで展示しているパネルを展示。
日時：2025年6月6日（金）14:45～ 16:45
会場：主婦会館プラザエフ9Fスズラン （東京都新宿区四谷）
発表企業：6社　申込が多い場合は事前書類審査または予選大会を実施する。
　　内容が拮抗する場合は正会員を優先する。
各社プレゼン時間：15分厳守
内容：各社のシステムやサービス。なお、防犯領域に限定しない。
審査員：招待小売業者の皆様より3名程　～会場の拍手を参考にします～
審査基準：①小売業でのニーズ　②内容・発表の分かり易さ　③内容・話が楽しい　④ガバナンスやSDGsの観点　⑤真の防犯マーケティング度※
賞金：金賞5万円商品券、銀賞3万円商品券、ユーモア一賞2万円商品券
申込条件：JEASの正会員であること。
申込期限：2025年4月16日（水）迄に事務局（infonew@jeas.gr.jp）に別紙書類提出
各社パネル展示：セキュリティショーで展示している各社パネルを後方に展示
担当委員会：企画は政策・研究委員会、実施は総務委員会
公開：Teams等でライブ公開する。
※次のページを参照のこと。

BEST AWARD

JEAS 工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体

1

◆外部の方からアグレッシブと言われるJEAS理事会

2月7日(金)の14時50分より高千穂交易（株）セミナールームで第5回理事会が開催された。15分勉強会は「ブックオフグループHD株式会社様社内不正事例の研究」について公認不正検査士・会計士の米澤勝先生より説明いただきました。合計32名（会場22名　オンライン10名）が参加、17時15分からの意見交換会（新年会）には14名が参加。

主な内容：

①冒頭に全国万引犯罪防止機構（以下万防機構）新理事長の樋口建史様（元警視総監、元ミャンマー大使）より新任挨拶をいただきました。毎号の万防機構の会報の裏面にはJEASの広告を入れさせていただいております。なお、万防機構の入会メリットとHPのバナー広告案内は会員ページのb_36にある。

②HOUSEI（株）の正会員入会と（株）ボックス・ワンの賛助会員の入会の理事会承認がされた。HOUSEI（株）には会員証が贈呈された。続いて高千穂交易（株）の万引き行動検知ソリューション『veesion』（ヴィージョン）に推薦製品の認定証が贈られた。

工業会 JEAS https://www.jeas.gr.jp 推薦製品 No.007

③15分勉強会（実質30分）の様子

15分勉強会の資料は会員ページのd_43に保存。井上謙二理事（日本NCRコマース社）提供のNRF2025出展社レポートは会員ページのb_37に保存。

④2026年10月7日（水）～10日（土）に開催される第22回アジア太平洋小売業者大会（東京）で初のロス・プリベンション（以下LP）のセッションが2時間枠で開催される方向となっている。JEASとしては、パールスポンサーと会場ブース出展に申し込むために、200万円を予算計上する。LPの輪がThink Globallyとなっていくために、LP上級者向けの新たなサイトの検討をスタートさせた。英語にも中国語にも変換でき、動画は自国語でテロップが付く時代になっているので、それを活用しない手はない。

⑤2025年度に第6回推奨顔認証システム検定（予定日7月22日、23日）や第5回科学保安検定（9月25日）を開催することを決定した。さらにカメラ安全利用推進委員会の幹部には「JEAS推奨・推薦製品活用のためのカメラ設置・活用基準冊子（仮称）」の作成を依頼し、科学保安プロジェクトの幹部には「科学保安資格者のための警備立哨、制服巡回、保安警備冊子（仮称）」の作成を依頼した。

⑥会報42号の内容確認を全員で行った。今回の表紙は各検定制度のマークをメインとしたデザインに変更した。15年続いた「お天道様は見ているデザイン」は各検定マークに精神に織り込まれているので安心いただきたい。JEASメンバーのアグレッシブで笑顔あふれる活動をQRコードにて内容確認されたし。

～メーカーやサプライヤーの皆様に～

- 小売業の支援の団体ですので、ロス対策・万引対策に関心がある小売業などの流通業者が多数会員におります。
- ロス対策士検定を会員割引で受験できます。
- 警察関係のスタッフもおり、現場対応についてのアドバイスができます。
- 犯罪統計や転売被害対策などの情報を持っています。
- Xなどで最新の情報を発信しています。
- 各小売業団体の幹部が理事をつとめています。

協会運営が目的のための協会、外部を批評しているだけの協会、お茶を濁しているだけの協会、そんなものは不要である。新たな困難に直面している現場を支えるためにアグレッシブに学ぶのは我々工業会の責務である。お盆様で、気付くとコロナ禍前の会員数の2倍を超える会員数となっていた。JEASの全会議は慣行として、明快な準備資料用意の徹底、会議の前では皆平等、最低1回は発言する、よく笑う、失敗の中にもユーモアを。がモットーである。そんなところに同志が集まる要因があるかもしれない。

経済産業省認定の防犯カメラ等のセキュリティ機器の工業会からのお願い

会員外の顔認証メーカーなどがブラックリストとかグレーリストや容疑者などと不適切な説明をしているケースを見かける。その度に、経済産業省認定の防犯カメラ等のセキュリティ機器の工業会として、「対象者リスト」やダブルチェックや映像記録で「確実に万引を敢行したもの」という用語を使うように指導している。警備の方々には「店舗から排除すべき者」ではなく「社会からのサポートが必要な人」とアドバイスしている。防犯関係者には、内省的でまわりに配慮した言葉を用いるようにお願いしたい。最近、起こっているカメラ関係の炎上は職業人として求められる配慮がなされなかったことに起因することが多い。なので適切な用語を用いるようにお願いしたい。その職業人の神髄が学べるのが工業会JEASであり、職業専門委員制度であり、この防犯民主主義実現への連載を書き続けている理由である。

警察庁の統計によると、刑法犯の認知件数は73万7679件で、2023年から3万件以上増え、3年連続の増加となった。罪別では、窃盗が全体の7割近くを占め、万引きが前の年から5000件以上増えた。警察庁は日本チェーンドラッグストア協会へ新たな指針に基づく対策をするよう呼びかけた。報道によると「空箱陳列」や「店内報道」や「声かけ」が主な対策のようである。

結びに日露戦争の第三軍司令官の乃木希典が詠んだ漢詩で締めたい。不戦の誓いと防犯民主主義実現への願いを込めて。乃木閣下、それでよいですね。

爾霊山（203）の現代語訳：

爾霊山は険阻ではあるが、どうしてよじ登れないことがあろうか

男子が功名を立てようとするときは、困難に打ち克つことを決心するものだ

砲弾の鉄と兵士の血とが山を覆い尽くし、山の形まで変わったほどの激戦が終わり

いまは万人だれもがそろって爾霊山を感慨深く仰ぎ見るのだ

爾霊山（なんじ英霊たちの山よ）

推奨 顔認証システム JEAS 工業会 日本万引防止システム協会 カメラ画像安全利用推進委員会 https://www.jeas.gr.jp

全国万引犯罪防止機構（通称：マンボウ）

万引撲滅のための戦略を本気で提言・実践する小売業界を中心に組織化されたNPO法人

文：事務局（稲本義範）

第22回 アジア太平洋小売業者大会 [東京大会]
2026年10月7日(水)―10日(土)
東京国際フォーラム
および周辺施設